

矯正治療の目的

矯正治療の一番大切な目的は「咬み合わせを良くする」ことです。

「咬み合わせを良くする」というのは、歯を並べる時に上下の歯がしっかりと咬み合い良好に機能する位置に歯を配列するということです。その際、あごを楽にした状態で無理なく咬める様、顎関節の状態も考慮して治療を行わねばなりません。

矯正治療とは、単にガタガタのないきれいな歯並びへ改善することだと思われがちですが、良好な咬み合わせに改善することこそが大変重要であり、矯正治療の難しいところでもあります。

きちんとした矯正治療により良好な咬み合わせへ改善することは、下記に示す様な多くのメリットをもたらします。

また、不正咬合から引き起こされる悩みは患者さんそれぞれで違います。食べ物が咬みにくいと感じられている方、歯だけではなく顔や口元にコンプレックスを抱えられている方、将来のお子さんの歯並びを心配されている親御さん等様々ですので、患者さんそれぞれの悩みをしっかりと把握し、できる限りそれを解消できる様に治療を行うことで、少しでも快適な日常をおくれる様にするということも重要な目的のひとつと考えます。

矯正治療のメリット

- ・咬む能力を高めたり、咬む力を多くの歯で均等に負担することで多くの歯を長持ちさせることに繋がります。
- ・お子様の場合、正しい顎の運動を誘導して顎や顔の正常な発育を促すことに繋がります。
- ・歯磨きがしやすくなり歯列の悪いことが大きな誘引となる、むし歯・歯肉の炎症に対するリスクを軽減します。
- ・歯や口元にコンプレックスをお持ちの患者様では、矯正治療により口元を気にせず話したり笑ったりできる様になり、周囲からの印象が明るくなる場合があります。

矯正治療に伴う一般的なリスクや副作用

矯正治療は上記の様な良い結果をもたらす一方で、治療をうけられるにあたりリスクや副作用もあることをご理解いただかなくてはなりません。一般的に以下のようなことが挙げられています。（日本矯正歯科学会ホームページより引用）

- ・矯正装置による不快感、矯正力による歯の痛みが生じることがあります。（数日間～1、2週間で慣れることが多いです。）
- ・歯の動き方には個人差があります。装置の使用状況や定期的な通院等において、患者さんの協力が非常に重要であり、それらが治療結果や治療期間に影響を及ぼします。
- ・装置装着後は歯が磨きにくくなり、丁寧に磨かなければ虫歯や歯肉炎等のリスクが高まり

ます。

- ・治療後は保定装置を指示通りに使用しないと後戻りが生じる可能性が高くなります。
- ・治療後も加齢や歯周病、悪習癖や親知らず等、様々な要因により少しずつ歯並びは変化します。

医療法人香裕会 URL:<http://kouyuukai-dc.com/>

理事長 井上 一夫